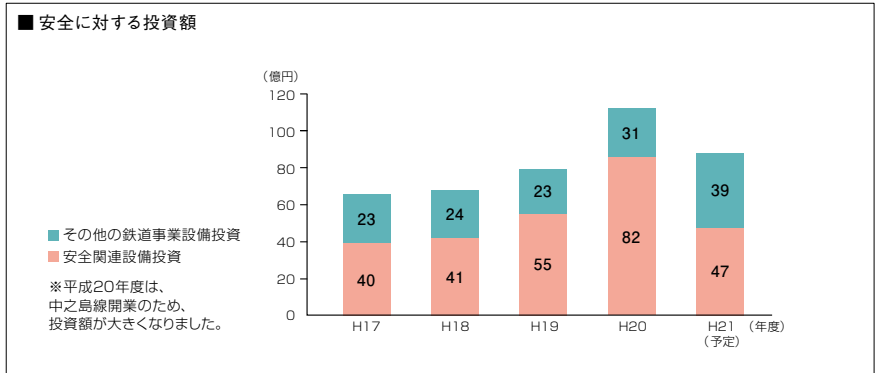


## 安全投資

当社では、お客さまに安心、快適に鉄道をご利用いただくため、安全関連設備投資として、平成20年度は約82億円を投資しました。平成21年度は約47億円を投資する予定です。



## 技術の継承

### 保線部門

軌道を保守する技術力を維持するために、平成16年より社内に技術継承プログラム委員会を立ち上げ、策定した年間計画に基づいて実務研修(年2回)や机上研修(年4回)を実施しています。

実務研修では、経験豊富な社員が中心となって若手社員に訓練を行っています。保線作業の要領や防災時の対応などの技術継承に努めています。

机上研修では、軌道に関するあらゆるテーマを取り上げ、研究発表や議論を通して、知識の習熟に努めています。



▲分岐まくら木交換作業

#### Message

**八木 誠**  
鉄道事業部 保線課  
京都保線係



私たち保線課は、暑い日・寒い日・昼夜を問わず線路の保守・点検を行い、運転保安を確保しています。そのためには若手社員のスキルアップが必要で、時には優しく、時には厳しく、理解できるまで指導しています。

### 電気部門

電気部門では、電気技術に対する理解を深めるための教習書や、安全点検の確実な実行と一定レベルの技術を確認するための標準作業手順表を活用しています。

また、作業者の安全確保や障害発生時の迅速な復旧を目指すため、主に若年者を対象に「障害復旧訓練」を実施しています。

毎年開催される「業務研究発表会」では、さまざまな課題に対する対策や改善を検討し議論することで、技術力の向上に努めています。



▲実設訓練

#### Message

**中村 博史**  
鉄道事業部 電気課  
京都電力係



標準作業手順表や障害復旧訓練を通して、若手社員の技術力向上に日々努めています。常に安全意識を養い、ヒューマンエラーが起きないように指導しています。

### 車両部門

車両部門では、作業手順書などを作成して技能・技術力の保持に努めていますが、ベテラン社員の大量定年退職による技能の断絶を避けるために、技能の継承に重点をおいた勉強会を年間計画(年6回以上)に基づき実施しています。

また、新任監督者を対象に指導者としての研修会を開催し、技能継承が「安全・確実」に行えるようにしています。さらに、過去の重大事故の教訓を継承するために、重大事故年表を作成し安全マネジメント教育などで周知徹底しています。



▲技術継承の勉強会

#### Message

**中西 久文**  
鉄道事業部 車両課  
整備係



私たちの世代は、作業を安全かつ確に行うノウハウをいろいろな形で諸先輩方から教わり、習得してきました。それをいかに後輩たちに伝えていくかを念頭に置きながら、作業に取り組んでいます。